

木質バイオマスの原料製造及び住宅地域の融雪などに熱利用

＜概 要＞

○実施主体

西目屋村、西目屋薪エネルギー（株）等

○主な設備

薪製造設備

温泉宿泊用施設給湯

木質バイオマスボイラー（351kW）蓄熱タンク（10 t）…薪使用量約220m³/年
 子育て定住エコタウン道路融雪プラント
 （丸太換算体積）

木質バイオマスボイラー（581kW×2）蓄熱タンク（18 t）…薪使用量300m³/年
 ロードヒーティング設備（2,900m²）
 （丸太換算体積）

＜取 組＞

- 西目屋村は約9割が森林であり、青森津軽地域の主要水源である岩木川の源流と世界自然遺産の白神山地を保有する。
- 平成29年にバイオマス産業都市構想が認定され、村内の豊かな森林資源の有効活用を通じて、雇用の創出や移住・定住者向けの住宅を整備し、地域の林業振興につながる取組を実施している。
- 村内に住宅団地を整備し、木質バイオマスエネルギーにより道路融雪を実施し、除雪の軽減や雪による不安を軽減した住みよい住宅環境を提供している。また、村内の温浴施設へも熱を供給している。
- 村内のバイオマスの中核を担う者として、西目屋薪エネルギー（株）を官民共同出資により設立し、薪の生産・供給体制を整備している。
- 白神山地及び地域の里山林及び木質バイオマスを森林空間を活用した体験サービス等を提供する森林サービス業や教育プログラムとして環境教育事業を展開する。



- 二酸化炭素排出量の削減や、村内の森林整備・林内環境改善にもつながり、薪の製造やエネルギー供給・森林サービス事業等による雇用の創出が図られている。
- 林業の担い手確保・観光資源活用するため、チェーンソー・伐倒講習や森林レンタルサービス事業を実施している。



薪製造事業



熱を利用して道路を融雪

